

開館 90 周年記念特別展

重文・国宝・
指定文化財、
名品
ぞくぞく登場！

武士の魂



期間

2019年

10月26日(土)

12月1日(日)

時間

午前8時30分～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

休館日

水曜日
(10月30日、11月6日は開館)

観覧料

一般300円 高校・大学生200円
小中学生100円

障害者及びその介助者は無料・団体割引あり

主催

上田市立博物館



上田市立博物館
Ueda City Museum

〒386-0026 長野県上田市二の丸3-3 (上田城跡公園内)
TEL : 0268-22-1274 FAX : 0268-23-5503
Mail : hakubutukan@city.ueda.nagano.jp
URL : <http://www.city.ueda.nagano.jp/hakubutukan/tanoshimu/hakubutsukan/uedashi.html>

— 上田ゆかりの武具と刀剣 —

武士の魂

—上田ゆかりの
武具と刀剣—

重要文化財

織田信長所用
小紋地桐紋付韋胴服



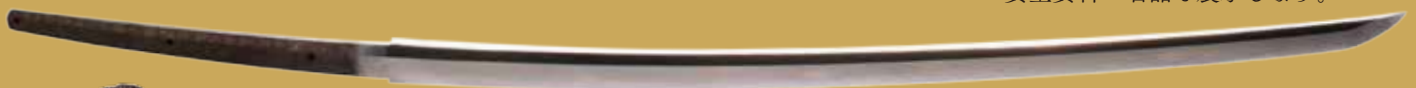
初公開!
豊臣秀吉書状!!

武具とあわせ、
新しく収蔵した
仙石権兵衛(秀久)宛
羽柴秀吉の書状を
初公開します。



千(仙)石権兵衛宛羽柴秀吉書状

上田市立博物館は、前身の徴古館(1929年開館)から数えて今年で90周年を迎えます。これを記念して、当館所蔵の武具の中から、重要文化財や県宝、市指定文化財などを含む貴重資料・名品を展示します。



長野県宝 太刀 銘一弘化四年丁未春二月上浣應同國上田藩河合直義君之需信濃國小諸住山浦壽昌作之



松平忠優所用
黒漆塗本小札萌黄
裾濃威腹巻具足



上田市指定文化財

松平忠周所用
鉄黒漆塗横矧五枚胴具足



上田市指定文化財

仙石秀久所用
紺糸威二枚胴具足

甲冑 = 「よろいかぶと」、弓矢そして刀剣…。日本社会を長らく支配し続けた武士階級は、基本的に軍事をつかさどる存在でした。武士にとっての価値観は、古代以来「弓馬の道」とうたわれ、南北朝や戦国の動乱期を通じて、甲冑や刀剣の形態もさまざまに変化してゆきます。武士の戦装束である「武具」は、生死に関わる実用の道具であるのと同時に威信財としての機能も持ち続けたのでした。

当館所蔵の武具類は、上田藩主所用の甲冑や弓矢、藩のお抱え刀鍛冶が鍛えた刀剣、陣羽織などを中心としていますが、当地域の方が収集・寄贈されたものなど、いずれも上田にゆかりの深いものばかりです。

本展を通じて、上田の地には多くの貴重な文化財があるということ、そしてそれらを現代まで長く伝えてきた人々の思いを感じ取って頂けると幸いです。